

事業所名 めやすばこ ひ・よ・り きっず

## 支援プログラム

作成日 2024年 12月 1日

法人（事業所）理念	・利用者主体のニーズの追求 ・ナンバーワンの福祉サービスを目指す ・職員が働きやすい職場作り							
支援方針	・園など関係機関と密に連携を取りながらお子さまの支援を行います。 ・担当者だけでなく職員全員でお子さまの支援を考えていきます。 ・お子さまの年齢やニーズに合わせて、個々に合ったねらい、活動の進め方を検討していきます。							
営業時間	9時	00分	から	16時	00分	まで	送迎実施の有無	要相談 ※基本的にはご家族での送迎をお願いしています。
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・基本的な生活スキルの獲得を目指して、箸やスプーンなどの食具の操作スキルやそれに付随する手先の操作性の向上を目指します。 ・視覚的な見通しや手順書を活用しながら、日々のルーティンなどやるべきことを自立的にできるようにサポートします。						
	運動・感覚	・体力、体幹の向上を目指して、散歩や運動遊び、サーキット活動などを行います。 ・視覚的な指示や感覚刺激などを活用して、姿勢を保持するために必要な手立てを検討します。						
	認知・行動	・認知や行動に関連する概念（大小、数、形、色など）の理解を深めることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。 ・お子さん一人一人にとって分かりやすい方法で1日の流れや活動の流れを示すことで見通しをもって活動に参加できるようにします。 ・タイムタイマーなど視覚的な手掛かりをもとに時間を伝えることで、「どれくらい活動する？」「どれくらい待つ？」などの見通しを持たせます。						
	言語 コミュニケーション	・ルールのある活動をする際には、イラストや文字を使ってルールを視覚化して伝えます。 ・困った場面でのヘルプの発信などに関して、事前に適切な言葉や発信方法を確認した上で実践練習をします。 ・自発的な発信がしにくい場面では、イラストなどが描かれた要求カードを用いて発信の練習を行います。						
	人間関係 社会性	・SST（ソーシャルスキルトレーニング）で「こんなときどうする？」を一緒に考えていきます。 園やご家庭で実際に経験した場面を使って、自身の行動や思いを振り返ることもしてしていきます。 ・必要に応じて自由遊びにも職員が介入することで、場所や物の共有それに伴うやりとりの練習を行います。						
家族支援	・懇談や日々の情報共有 ※一番身近な支援者であるご家族へのサポートを重視しています。				移行支援		・移行書、サポートブックの作成 等	
地域支援・地域連携	・園やリハビリ機関などへの見学実施				職員の質の向上		・外部講師の方を招いた勉強会などを定期的実施	
主な行事等	保護者茶話会、夏祭り、ハロウィンクッキング、合同運動会（法人内児童発達支援） 等							